

# とよだ保育園

平成 29 年度

## 事業報告書

社会福祉法人 とよだ福祉会

## 目次

- 1、施設の概要
- 2、人員推移状況調
- 3、年間行事実施概要
- 4、避難訓練・不審者対策訓練実施状況
- 5、保守安全点検実施状況
  - ①消防用設備等点検
  - ②遊具等設備等点検
- 6、職員会議、職員研修の状況
- 7、寄付金品受納調
- 8、平成29年度 クラス別自己評価

# 1、施設の概要

- (1) 施設の種別 児童福祉法、第Ⅱ種 (保育所)  
 (2) 設置・経営主体 社会福祉法人 とよだ福祉会  
 (3) 開設年月日 昭和55年4月1日  
 (4) 定員 90名  
 (5) 位置 弘前市大字高田1丁目13番地5  
 (6) 施設規模及び構造

①敷地面積 1,322.92 m<sup>2</sup>

区 分	面 積 (m <sup>2</sup> )	備 考
総 面 積	1,322.92 m <sup>2</sup>	
建 面 積 (延 面 積)	682.08 m <sup>2</sup> (694.15 m <sup>2</sup> )	
野外遊戯場	600.00 m <sup>2</sup>	
そ の 他	40.84 m <sup>2</sup>	

②建物の構造

木造亜鉛メッキ鋼板葺二階建

③建物の状況 (内訳)

1階

単位 : m<sup>2</sup>

室 名	面 積
事務室・医務室	19.87
保育室1 (2歳児)	37.71
乳児室兼ほふく室②	37.71
乳児室兼ほふく室②便所	7.13
保育室3 (5歳児)	65.22
保育室4 (3歳・4歳児)	62.94
乳児室兼ほふく室①	65.84
乳児室兼ほふく室①便所	1.65
多目的遊戯室(2室)	56.31
遊戯室	54.40
教材室	16.66
1階階段室	7.45
厨房	20.70
調理員 休憩室	6.63
調理員 便所	1.65
食品庫	3.31
冷凍庫置場	1.92
調乳室	3.31
沐浴室(2カ所)	4.96
玄関	13.25
廊下	74.72
職員用便所	3.73
園児用便所(2カ所)	20.72
遊具庫	9.94
押入(3カ所)	9.10
勝手口(3カ所)	5.78
水飲み場(3カ所)	3.63
その他	3.89
計	620.13

2階

単位 : m<sup>2</sup>

室 名	面 積
2階教材室・遊具庫・職員休憩室	52.49
2階物置	21.53
計	74.02
合計 (1階+2階)	694.15

## 2、平成29年度 人員推移状況調

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5才児	標準時間	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	短時間	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
4才児	標準時間	11	10	10	11	11	10	9	9	9	10	10	10
	短時間	2	3	3	2	2	3	3	3	3	2	2	2
3才児	標準時間	13	13	13	14	15	15	15	15	15	14	14	14
	短時間	1	2	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1
2才児	標準時間	18	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18
	短時間	2	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
1才児	標準時間	13	12	12	12	13	13	13	13	13	12	12	13
	短時間	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2
0才児	標準時間	6	8	10	12	12	12	13	13	14	13	13	13
	短時間	3	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2
合計		85	87	89	90	90	90	90	90	91	91	91	92

## 3、年間行事実施概要

月	年間保育行事	備考	月	年間保育行事	備考
4月	1 入園式	(各月共通) 清潔検査 身体測定会 お誕生会 避難訓練 スイング教室 体育リズム	10月	1 十五夜・お月見会 2 職員健康診断 3 総合避難訓練・不審者対策 4 秋祭り徒歩遠足 5 厚生学院 見学実習 6 リズム指導	消火作業訓練含む 弘前公園、りんご公園
5月	1 こどもの日・お祝い会 2 和太鼓クラブ顔合せ 3 保育参観 4 総合避難訓練・不審者対策 5 街頭防火呼びかけ 6 交通安全教室	和太鼓クラブ参加 消火作業訓練含む モータースクール	11月	1 七五三お宮参り 2 内科検診 3 歯科検診 4 勤労感謝職場訪問	高田神社お宮まいり 嘱託医師・角田外科 嘱託医師・大津歯科 職場4ヶ所
6月	1 内科検診 2 交通安全教室 3 徒歩遠足 4 歯科検診 5 東消防署慰問 6 東中学校体験学習	嘱託医師・角田外科 交通公園広場 嘱託医師・大津歯科	12月	1 新年度入園受付 2 クリスマス生活発表会 3 リカバリー交流会 4 和太鼓クラブクリスマス会 5 もちつき会 6 御用納め 7 希望保育	和太鼓クラブ参加 和太鼓クラブ参加
7月	1 七夕 2 体験学習 3 ねぶた運行 4 プール参観	和太鼓クラブ参加 和太鼓クラブ参加	1月	1 御用始め 2 お正月遊び 3 凧絵制作 4 和太鼓クラブお別れ会 5 厚生学院実習 6 医療福祉大学実習	和太鼓クラブ参加 和太鼓クラブ参加
8月	1 縦割り保育 2 運動会	お盆 東小学校	2月	1 豆まき 2 内科検診 3 お店屋さんごっこ 4 歯科検診	嘱託医師・角田外科 嘱託医師・大津歯科
9月	1 自衛消防技術大会 2 虫取りバス遠足 3 保育参観デー 4 厚生学院実習	弥生いこいの広場	3月	1 ひなまつり 2 お別れ会 3 保育証書授与式 4 入園説明会 5 縦割り保育	耳の日

## 4、避難訓練・不審者対策訓練実施状況

### 避難訓練

月	災害発生場所	災害発生原因	避難場所	誘導経路及び避難方法	時間
4/27	給食室	油に引火による火災	玄関	非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、玄関に避難する。残留児の確認をする。消火器を持つての模擬消火。	10:00～ 10:15
5/18	給食室 総合避難訓練	てんぷら油に引火による火災	園庭	消防署より総合避難訓練の指導を受ける。(通報・消火・避難)非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、非常口より園庭に避難する。残留児の確認をする。消火器を持つての消火訓練。	10:00～ 10:20
6/28	事務室	漏電による誤差作動	園庭	非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、園庭に避難する。残留児の確認をする。消火器を持つての模擬消火。	9:45～ 10:00
7/26	岩手県	岩手県沖地震	園庭	地震を知らせ、窓を開け、テーブルの下など安全な場所に待機する。揺れがおさまったら保育者の指示に従い、園庭に避難する。	15:00～ 15:10
8/23	弘前市高田 周辺	台風による停電 水害	遊戯室	非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、遊戯室に避難する。残留児の確認をする。消火器を持つての模擬消火。	10:00～ 10:10
9/27	事務室	漏電による火災	遊戯室	非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、遊戯室に避難する。残留児の確認をする。消火器を持つての模擬消火。	15:00～ 15:15
10/26	事務室 総合避難訓練	漏電による火災 (疑い)	遊戯室	消防署より総合避難訓練の指導を受ける。(通報・消火・避難)非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、遊戯室に避難する。残留児の確認をする。消火器を持つての模擬消火。	10:00～ 10:15
11/24	宮城県	宮城県沖地震	遊戯室	地震を知らせ、窓を開け、テーブルの下など安全な場所に待機する。揺れがおさまったら保育者の指示に従い、玄関前に遊戯室する。	10:00～ 10:15
12/20	弘前市 高田周辺	強風による停電	遊戯室	非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、防寒着を着用し、遊戯室に避難する。残留児の確認をする。	15:00～ 15:15
1/25	日本海	地震(震度5)	遊戯室	地震を知らせ、窓を開け、テーブルの下など安全な場所に待機する。揺れがおさまったら保育者の指示に従い、遊戯室に避難する。	9:45～ 10:00
2/23	八戸市	太平洋地震(震度5)	遊戯室	地震を知らせ、窓を開け、テーブルの下など安全な場所に待機する。揺れがおさまったら保育者の指示に従い、遊戯室に避難する。	10:00～ 10:30
3/2	保育園裏民家	漏電による火災	遊戯室	非常ベルを鳴らし、保育者の指示に従って、遊戯室に避難する。残留児の確認をする。消火器を持つての模擬消火。	10:00～ 10:15

### 不審者対策訓練

月	実施場所	対象児童	実施内容	時間
5/18	遊戯室	5・4・3才児	知らない人に声を掛けられたり、腕をつかまれた時の対処の仕方。	10:15～ 10:30
10/26	遊戯室	5・4・3才児	知らない人に声を掛けられた・連れて行かれそうになった時どう対応するかの練習。	10:30～ 10:40

## 5、保守安全点検実施状況

### (1) 消防用設備等点検

平成29年5月10日(第1回)、平成29年11月22日(第2回)

### (2) 遊具等設備等点検

4/8、4/21、5/2、5/20、6/21、6/27、7/3、7/21、8/4、8/23、9/1、9/26、10/4、10/26、11/9  
11/24、12/8、12/22、1/9、1/23、2/6、2/23、3/3、3/26 (月2回点検)

## 6、職員会議、職員研修の状況

### ①職員会議の開催状況

会議名	開催回数	参集範囲
職員会議(月案)	12回	全職員
未満児会議	12回	13名
以上児会議	12回	4名
給食会議	12回	4名
行事打ち合わせ	12回	全職員
職場内部研修	8回	全職員

### ②職員研修の状況

研修会名	開催月	のべ参加人数	外部・内部別
職場内部研修	5・7・9・10・1・2・3月	160名	外・ <input checked="" type="checkbox"/> 内
消防研修	4・9・10月	6名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内
交通安全研修	5・11月	2名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内
リズム研修	10月	8名	外・ <input checked="" type="checkbox"/> 内
新任保育士研修	5・9月	2名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内
主任保育士研修	7・8・10・2月	4名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内
給食研修	7・8・11・2月	5名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内
保育士研修	6・7・8・9・10・11・1・2月	38名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内
保育園園長研修	4・5・6・7・9・10・11月	10名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内
施設長研修	6・9・11・2月	4名	<input checked="" type="checkbox"/> 外・内

## 7、寄付金品受納調

(敬称略)

1、平成29年11月14日(内科医)角田 秀雄

80,000円

## 8、平成29年度 クラス別自己評価

<p>さくら組（5歳児）</p>	<p>年長組2年目とゆうこともあり、行事への対応は、スムーズに出来ていたと思う。子ども達も静かによく話を聞いて行動してくれるので何事もあせらずに一年出来た。就学に向けて、ひと通り学校へ行っても困らないように指導してきたが、個人差があるので、よく見極めて対応した。また、自分で出来ることを増やし、自信につながるように声掛けし、クラスみんなで協力して出来るように促し、あきらめずに頑張る力を一人一人身につけたと思う。</p>
<p>ゆり組（4歳児）</p>	<p>長い期間、以上児と触れ合う機会がなかったことから、4月の始め頃は中々心を開かなかった子も見られたが、少しずつ慣れ、子ども達からいろいろ会話が出来るようになった。また、運動会等大きい行事をこなした事で、子ども達に達成感を味わわせることが出来た。進級に向けた楽しかったことなどを発表する時間をとり、期待をもたせることが出来た。</p>
<p>すみれ組（3歳児）</p>	<p>「保育者や友だち同士の関わりの中で、自分の思いを言葉や行動で表現する」事を保育目標として1年間過ごしてきた。又、「基本的な生活習慣を身につける」として、普段の生活も丁寧に行うことを意識し、複担で話し合いながら進めていくことができた。友達と戸外や室内で伸び伸びと積極的に関わる中で、安心して過ごしたり、時にはケンカしながらも自分の意思を強く言えるようになった場面や相手の意見に耳を傾けられるようになる姿も見られるようになった。個々の育ちには継続的な援助を必要とする子もいるので、スムーズな進級につなげたい。</p>
<p>ちゅうりっぷ組（2歳児）</p>	<p>身体的発達を促す運動や集団で楽しめる遊び等の普段の活動のなかで、自分でできる事は自分でやらせるという形でやってきた。また、「自分に自信がもてるよう」に個々のもてる力を引き出してあげるような保育での思いだったが、少しそれができたと思う。保育者間で皆が責任をもってやってくれた事で、スムーズで楽しい保育ができたと思う。事故もなく安全に終れ、ほっとしている。</p>
<p>つくし組（1歳児）</p>	<p>基本的な生活習慣が身に付くよう一人一人に丁寧に関わるようにし、援助出来るよう心掛けた。聞いたり、見たり、触れるなどたくさん経験できるように戸外遊びを多く取り入れ探索活動も十分出来るようにした。トイレトレーニングなど個々に合わせながらももう少し進めるのを早くした方が進級に向かうにあたって良かった子もいたので、進め方を考えていきたい。</p>
<p>たんぽぽ組（0歳児）</p>	<p>一人一人の発達状況に応じて関わり、援助することで情緒が安定したり、順調に発達を支えることができたように思う。子ども達が興味を示すような活動（身の回りのこと、運動、製作など）行うことで、個人差はあるが、やってみようとする姿を芽生えさせることができた。又、保護者と連絡を密にすることで、子どもの成長を共有することができた。感染症の病気を防ぐことの対応に対しての課題が残った。</p>